



お金をかけないPRもあり！ 今月は独自の方法で大好きな阿蘇市を紹介している松下さんをご紹介します。

初めはラジオに投稿した
ハガキ一枚から

阿蘇市に越して来て30年が過ぎましたと微笑む松下さん。まだ阿蘇に来て間もない頃、友だちも少なく、ただ周囲に広がる見事な景観に魅せられた生活の中、いつも聞くラジオ番組に、今自分の目の前で見えている光景を書き綴り投稿。すると数日後ラジオから自分の書いた阿蘇の様子が読まれ、県内の人に伝わりました。その喜びがきっかけで、阿蘇のすばらしさに気付いたら新聞やラジオに投稿するようになったそうです。

そしてさらに映像でもPRできたらと、勇気を出して「KKTテレビタミンの特派員」に応募。平成9年から始め、年に10回くらいのペースで夕方の番組に出演し、ご自分でビデオ撮影した情報を紹介されています。これまでに、取材したビデオは100本以上になるそうです。

「ラジオにしろ、特派員情報にしろ、投稿したことが取り上げられて、投函しないことも度々あります。けれど、番組で取り上げられた人たちが元気になったり、そのお店が注目されお客さんが増えました！なんて聞くと、また次も頑張ろうって思います」と松下さん。もつと輝く人を紹介して子どもたちのやる気につなげたい、もつといのお店を紹介して利益につなげてもらいたいと意欲的です。

市民一人ひとりが広報マン！

一人ひとりが阿蘇市のいいところを、少しでも伝える努力をすることが阿蘇市が経済的にも潤う第一歩だと思ふ松下さん。それは松下さんが現在宿泊施設でプロ

ントのお仕事をされている現場で感じること。お客さまは『地元の人が勧めるもの』に興味を持たれるそうです。もちろん、まずは『勧めるもの』を生み出すやる気がある方あってのこと。松下さんはそんな方の登壇にも大いに期待されています。

『まち全体を美術館』でまちに魅力を

「地元の人々の情報が活きる！」を実証したのが、一昨年の12月。松下さんが「私は今から『阿蘇まるごと検定』を受けに行ってきます！」と一言ラジオに投稿したこと。受験の後日、番組記者から問い合わせがあり「ぜひ、番組に電話出演し、まるごと検定について説明してほしい」と依頼。応じたら番組で話すことになり、長時間にわたり全国に発信できたというもの。

常に阿蘇の活性化を願い、成功した観光地に学ぶ松下さん。そんな松下さんの夢は、『まち全体を美術館』にすること。店舗に限らず、一般家庭でもお気に入りの一点だけ、自分や家族の手作り作品を。

また、期間中毎日開放できないけど一日だけならOKという方には祭りやイベントに合わせ開放してもらおうとか…。文化祭をあれだけ彩る芸術の宝庫阿蘇市。そのオンラインワン作品が気軽に楽しめるまち。皆さんいかがですか？



先頭が松下さん

阿蘇神社のうなり行列に毎年参加している松下さん。祭に少しでも協力できたらと平成6年から自主参加されています。



自宅で書道教室を主宰される松下さん。放課後子ども教室で教えるなどYMCA書道ボランティア員としても活躍。

松下レイ子さん (宮地)